

だざいふてんまんぐう 太宰府天満宮について

太宰府天満宮って何？

「学問の神様」である菅原道真公のお墓の上に建てられた神社。毎年多くの参拝者が訪れています。



太宰府天満宮御本殿

菅原道真公はどんな人？

845年(平安時代)に京都で生まれ、一流の学者・政治家・文人として活躍していましたが、無実の罪により京都から大宰府に追放されました。大宰府政庁の南館(現在の榎社)で2年間過ごし、903年2月25日に亡くなりました。



菅原道真公

大宰府では仕事もさせてもらえず、貧しく苦しい生活だった・・・



大宰府政庁の南館(榎社)

どうして今の場所にお墓ができたの？

道真公の弟子が御遺体を牛車で運んでいる途中、牛が全く動かなくなりました。ここにお墓を建ててくれという道真公の意思だろうと考え、現在の天満宮の場所にお墓を建てました。



道真公の御遺体を運んだ牛は「御神牛」と呼ばれ、境内には銅牛・石牛などの像が数多く奉納されています。「御神牛」の頭を撫でると知恵が授かるといわれています。

菅原道真公はどのようにして神様になったの？

亡くなった後に無実が証明され、国の為素晴らしい働きをしていた道真公は当時の天皇より神様の位を贈られ、「天神さま」と崇められるようになりました。とても頭がよく、天才と言われていたことから「学問の神様」とも呼ばれています。



太宰府天満宮楼門

919年にお墓の上に立派な社殿が建てられ、その後「天満大自在天神」という神様の位を贈られたんだ



太宰府天満宮が有名な観光地になったのはなぜ？

道真公のお墓でもある太宰府天満宮は全国約12,000社ある天神さまをお祀りする神社の総本宮と称えられているからです。

また、春は桜、夏は花菖蒲とあじさい、秋は紅葉、冬は梅といった四季を楽しめ、「鬼すべ」や「神幸式」などの古くから続く伝統行事があることからたくさんの観光客が訪れるようになりました。



太宰府天満宮の名物

1. 梅ヶ枝餅…道真公は大宰府で食べるものにも困るほど不自由な生活を送っていました。かわいそうに思った近くのお婆さんがお餅に梅の枝を添えて差し上げました。

後に梅ヶ枝餅と名付けられ、太宰府参拝の名物となりました。



2. 木うそ…うそという鳥が木に止まっている姿を表しています。

うそ鳥は天神様のお使いの鳥と言われ、身に降りかかる災いを除いてくれる幸福の守り神として太宰府の人々に親しまれています。



令和ゆかりの地 太宰府

平成31年(2019年)5月1日に元号が平成から「令和」になりました

どうして太宰府が令和ゆかりの地といわれるの？

「令和」の由来は日本で一番古い歌集、万葉集におさめられた「梅花の歌三十二首」の序文からきています。その歌が詠まれた歌会「梅花の宴」が当時の大宰府長官、大伴旅人の自宅でひらかれたので令和ゆかりの地といわれています。

～令和の由来になった序文～



初春の令月にして 気淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫ず

(あたたかも初春のよき月、気はうららかにして風は穏やかだ。梅は鏡台の前の

お白粉のような色に花開き、蘭は腰につける匂袋のあとに従う香に薫っている。)

梅花の宴って何？

730年(奈良時代)大宰府の長官だった大伴旅人の自宅に大宰府や九州各地の役人をまねいて梅をテーマにした歌を詠んだ歌会なので「梅花の宴」と呼ばれています。



梅花の宴のジオラマ

製作者：山村延輝 所蔵：(公財)古都大宰府保存協会

大宰府展示館で
見ることができるよ！



大伴旅人の自宅はどこにあったの？



坂本八幡宮

自宅があった場所の候補は大宰府市内にいくつかあり、はっきりしていません。坂本八幡宮は候補の一つで、「令和ゆかりの神社」として新元号が発表されてから多くの人を訪れています。



だざいふ 大宰府について

大宰府とは

7世紀から12世紀前半に九州に置かれた役所の名前です。

663年、朝鮮半島の白村江の戦いで百済・日本の連合軍は唐・新羅軍に負け、かれらの攻撃にそなえ664年に水城、665年に大野城・基肆城を作り、これらに守られた土地(現在の太宰府市)に「大宰府」を置きました。その中心となる建物が大宰府政庁跡にありました。



昔の大宰府と大陸の位置関係



大宰府政庁 復元模型

写真：九州歴史資料館所蔵



国の特別史跡 大宰府政庁跡

写真：太宰府市教育委員会

大宰府の役割

- ・九州全体をおさめる
- ・外国からの客を迎える
- ・外国の攻撃から守る

大宰府は九州の政治、経済の中心で中国大陸や朝鮮半島が近いから大宰府を窓口にして外国の文化が入って来たんだね。

大宰府と太宰府の違い

歴史上の役所などは大宰府、現在の地名などは太宰府と書くことが一般的になっています。

大⇒大宰府政庁跡、大宰府展示館など 太⇒太宰府市、太宰府天満宮など